

事業承継を含めた経営課題を整理し方向性を明確化！

有限会社和倉炊飯（石川県）

食品製造業(米飯加工、学校給食受託、寿司加工品、弁当等)を営む事業者。

1. 相談のきっかけ

- ・事業者は、工場新設による今後の事業展開を見据え、事業全般の改善を図りたいと所望していた。
- ・七尾商工会議所経営指導員より、事業者の事業計画策定、事業承継に関する助言について、当拠点との連携要請があったため、相談に至った。

2. 課題整理・分析

- ・ヒアリングにより相談者は円滑な事業承継が最優先の取組み事項であり、事業承継に向けては、各幹部の事業に対する考え方や株式持分の調整、役員体制の編成・再構築などの対応が必要と判断。
- ・また再成長には確固たる事業計画策定も必要と判断。特に計画の要諦となりうる、新工場の工場稼働率の向上、中長期的な人材育成などへの対応が必要と判断。
- ・安全管理体制の更なる強化という新たな対応課題も発見。

3. 解決策の提案

- ・経営課題が多岐にわたるため、七尾商工会議所経営指導員とともに広村COを中心としてSCOの税理士・中小企業診断士で共同支援を提案。
- ・事業承継についてはSCOからフォーマット等を使用しながら事業承継計画表を整理し、いつまでに誰が何をやらなければならないか、事業承継後の経営体制を整理するよう助言。
- ・事業計画策定については、工場稼働率向上に向けて、現状の余力確認と生産負荷の配分、管理活動への活用、積極受注による工場操業度向上を提案。また実施機関(ISICO)主催の販路開拓スキルアップ研修会を紹介。中長期的な人材採用・育成等の計画反映も提案。
- ・安全管理体制の更なる強化については七尾商工会議所の専門家派遣制度の活用を提案。

4. 成果



・拠点のチーム支援の結果、事業展開の節目を迎えていた事業者が、多様な経営課題をきちんと整理することで、経営基盤を確立し、事業の方向性を明確化できたことが成果として大きい。

・まず、事業承継という点については、作成した事業承継計画表をベースにして中長期的な対応課題が実行可能な形で明確化。具体的に一部着手した行動結果として、経営体制の変更等が実現し、今後の事業成長の礎を構築した。

・次に、事業計画策定という点については、工場生産能力の現状把握ができるようになり、また、研修会で得た知見を参考にすることで、さらなる稼働率向上につながる具体的な取組として、冷凍商材や弁当の販路拡大に向けた積極営業の展開や、新商品開発に取り組むという将来的に重要となる取組の着手に導いた。人材育成・採用についても計画に反映。

・安全管理体制の強化については専門家派遣を経て、食品安全委員会の立ち上げや取組事項の文書化を実施した。

・相談者からは、チームによる支援能力を発揮し、具体的な課題解決につながる提案・フォローアップを実施を受けられ、「身近な相談拠点」として評価いただくことができた。